

高知県知事賞

平成27年度 高知県優良建設工事施工者表彰一覧

高知県知事賞

施工業者	代表者	現場代理人	主任・監理技術者	工事番号 工事名	工事場所	工事概要
青木建設 株式会社 高知県須崎市下分甲 667 番地 18	青木 俊道	堀内 雅巳	主任技術者 池田 龍二	道交地防安(改築) 第 101-014-6 号 県道窪川船戸線防災 ・安全交付金工事	高知県高岡郡中土佐町大野見寺野	施工延長 L= 118m 床版工 コンクリート V= 139m ³ 路側練石積擁壁 A= 345m ² 掘削工 V= 640m ³ 盛土工 V=1,808m ³ 橋面塗装工 A= 587m ² 鋼橋足場設置工 A= 670m ²
有限会社 礒部組 高知県安芸郡奈半利町乙 3781-1	礒部 昌平	岡田 和昭	監理技術者 宮内 保人	復旧第 25 号 二夕又復旧治山工事	高知県安芸郡北川村二夕又	溪間安定面積 A= 0.01ha 護岸工(鋼製) L= 20.5m 山腹工 A= 0.20ha のり砕工(吹付) A=2,555.1m ² 附帯工 1 式
入交建設 株式会社 高知県高知市南久保 4 番 47 号	谷本 誠	横井 靖久	監理技術者 山本 稔治	地震高潮第 6-7 号 国分川外地震高潮対策工事	高知県高知市北久保	[国分川工区] 施工延長 L=177.7m 矢板工 鋼矢板圧入 (IVw 型 L=13.0m N=270 枚鋼矢板・IVw 型 L=13.5m N=316 枚) 笠コンクリート工 L=347.5m コンクリート舗装工 A=1,315.4 m ² 嵩上コンクリート工 L=174.5m アスファルト舗装工 A= 39.7 m ² [久万川工区] 施工延長 L=37.1m 矢板工 鋼矢板圧入(IVw 型 L=13.5m N=116 枚) 笠コンクリート工 L= 72.9m コンクリート舗装工 A= 280.1 m ² 嵩上コンクリート工 L=154.8m アスファルト舗装工 A= 311.3 m ²
サクセス工業 株式会社 高知県高知市春野町弘岡下 2025	野村 政司	本田 厚志	主任技術者 土居 昌次	道交国防安(防災) 第 116-005-8 号 国道 321 号防災 ・安全交付金工事	高知県土佐清水市大津	施工延長 L=83m 吹付砕工 A=1,730 m ² L=1,905m 仮設防護柵工 L=78m
有限会社 高橋建設 高知県高岡郡津野町芳生野甲 162 番地 1	高橋 幸人	高橋 伸幸	監理技術者 海地 博	道交国(改築) 第 109-213-3 号 国道 439 号社会資本 整備総合交付金工事	高知県高岡郡津野町郷	施工延長 L= 92.5m 切土 V=9,350m ³ 山留練石積擁壁 A= 698m ² 防護柵 L= 71m 鉄筋挿入工 1 式

平成27年度 高知県優良建設工事施工者表彰一覧【高知県知事賞】

道交地防安(改築)第101-014-6号
県道窪川船戸線防災・安全交付金工事

青木建設 株式会社



【表彰理由】

四万十川中流域の県道のバイパス工事である。床版コンクリートの打設時期が冬季となり、特に夜間は、風の吹き込みや温度の低下など気象条件の影響による品質低下が危惧される現場であったが、事前に現場と同形状の型枠を製作し養生実験を実施することで、養生の開始時期や効果を把握し、現場への反映による品質の向上を図っている。

また、床版の鉄筋の配筋にあたっては、自動結束機の使用やスパーサー沈下防止プレートの設置などのほか、検測棒を設置することで、床版コンクリートの施工精度の向上を図るなど出来形管理の取り組みが優れている。

復旧第25号
二夕又復旧治山工事

有限会社 礪部組



【表彰理由】

平成24年度に大規模崩壊が発生した箇所を復旧治山工事である。現場は長大な不安定斜面であったため、常に危険と隣り合わせの作業が予想された。このため、現場全体の3Dモデルを作成し、構造部の取り合わせなどを事前に把握するとともに、ネットワーク工程(CCPM)と組み合わせて施工管理することで、様々なリスクを事前に解決し、効率性と安全性を向上させた。

また、法枠工の施工では大型のコンプレッサー、ポリエチレン管の使用などで、施工性と品質を向上させた取り組みが優れている。

地震高潮第6-7号
国分川外地震高潮対策工事

入交建設 株式会社



【表彰理由】

地震・高潮対策を目的とした河川堤防の耐震補強工事である。鋼矢板の圧入に際しては、事前に旧護岸の石積みなど地中障害物の撤去を行うとともに、狭隘な施工ヤードにおいてクレーンアウトリガー一部の作業架台を製作し設置するなど、周到な作業計画に基づき円滑かつ安全に施工がされている。

また、コンクリート舗装では施工時期が冬季であったため、灯光器やジェットヒーターさらには気泡緩衝シートによる保温養生を行い、リアルタイムで温度管理を実施するなど品質向上の取り組みが優れている。

平成27年度 高知県優良建設工事施工者表彰一覧【高知県知事賞】

道交国防安(防災)第116-005-8号
国道321号防災・安全交付金工事

サクセス工業 株式会社



【表彰理由】

県西部の国道、通称「足摺サニーロード」の法面崩壊対策工事である。施工場所が海に面しているため、法枠の下地として施工するラス金網と金網止め鉄筋の腐食防止対策が課題であったが、耐腐食性PKネットの提案や鉄筋への防腐剤の塗布を実施し課題を克服した。併せて、鉄筋挿入工で使用するセメントミルクに液体混和剤を混合することで、セメントミルクの逸脱を防止し、自生植物の保護に寄与した。

また、道路への土砂の飛散対策として、仮設防護柵上部に飛散防止柵を設置するとともに端部にもカーテン状防護ネットを設置するなど、安全対策も十分であった。

道交国(改築)第109-213-3号
国道439号社会資本整備総合交付金工事

有限会社 高橋建設



【表彰理由】

中山間地域の国道の改良工事である。山留擁壁(練石積)の背後には生活道と集落が近接し、特に施工時の振動が家屋に影響を及ぼさないように配慮する必要があったが、振動計の設置や静的破碎剤を使用するなど生活環境への配慮がなされた。

また、生活道の復旧工事に際しては、当初の現場打張出し床版による計画に対し、施工性や安全性を考慮して、2次製品の床版施工を提案することで大幅な工期短縮を実現した。併せて、練石積擁壁の施工にあたっては、丁寧な施工と管理により、優れた出来ばえを実現した。

優良賞

平成27年度 高知県優良建設工事施工者表彰一覧

優 良 賞

施工業者	代表者	現場代理人	主任・監理技術者	工事番号 工事名	工事場所	工事概要
株式会社 生田組 高知県高岡郡四万十町古市町7番34	生田 政嗣	山下 竜一	監理技術者 山下 竜一	道改(特定) 第10-103-12号 県道興津窪川線道路改良工事	高知県高岡郡四万十町興津坂	道路改良延長 L=134.5m 軽量盛土 V= 214m ³ 路側ブロック積擁壁 A= 94m ²
豚座建設 株式会社 高知県四万十市古津賀2丁目6番地	佐田 憲昭	田辺 豊	監理技術者 小野 大介	急傾 第15-1-13号 宮田急傾斜地崩壊対策工事	高知県四万十市藤	施工延長 1工区L=38.6m、2工区L=26.0m、3工区L=10.0m 掘削 V=2,648.8m ³ 埋戻し V= 164.4m ³ 擁壁工 L= 48.6m 落石防護柵 L= 44.8m モルタル吹付 A= 235.4m ² 吹付砕工 A= 89.0m ² 排水工 L= 38.7m 石積工 A= 89.0m ² 仮設防護柵 L= 55.4m
岩井建設 株式会社 高知県高岡郡梶原町川西路2324番地1	森田 豊秋	吉門 瑞樹	監理技術者 吉門 瑞樹	道改(特定)第09-107-1号 県道中平梶原線道路改良工事	高知県高岡郡梶原町初瀬	道路改良延長 L=90m 掘削工 V=3,380 m ³ 山留擁壁 A=228 m ² モルタル吹付法砕 L=920m 厚層基材吹付 A=510 m ² 鉄筋挿入工 異形鋼棒(D22) L=109m 側溝工(PU-3) L=95m 落石用仮設防護柵工 L=42m アスファルト舗装工 表層工 A=182 m ²
有限会社 木下建設 高知県安芸郡奈半利町乙4802番地	木下 龍二	福岡 秀平	主任技術者 森田 勇三	広域第1-3号 奈半利川広域河川改修工事	高知県安芸郡奈半利町乙	築堤 L=95.0m コンクリートブロック張工 A=1,508 m ²
新進・大谷 特定建設工事共同企業体 高知県高知市九反田5番8号	新進建設 株式会社 小川 裕司 株式会社 大谷興産 大谷 倫古	小松 和弘	監理技術者 森澤 昌文 主任技術者 上村 光基	高港臨第01-02号 高知新港臨海土地造成工事	高知県高知市三里	高知新港 高台企業用地 造成工事 掘削工 V=464,300m ³ 盛土工 V=343,800m ³ 法面整形工 A= 19,600m ² 仮設工 1式
大旺新洋・三谷組 特定建設工事共同企業体 高知県高知市仁井田1625-2	大旺新洋 株式会社 尾崎 憲祐 株式会社 三谷組 三谷 修一	竹崎 智浩	監理技術者 弘田 隆啓 主任技術者 竹村 正一	漁生産第2-3号 野根漁港水産生産基盤整備工事	高知県安芸郡東洋町野根	沖防波堤 L=40.0m(暫定+5.0m) 基礎工 L=57.3m 本体工 L=39.9m(ケーソン2函裾付) 上部工 L=39.9m 被覆・根固工 L=40.0m

平成27年度 高知県優良建設工事施工者表彰一覧

優 良 賞

施工業者	代表者	現場代理人	主任・監理 技 術 者	工事番号 工 事 名	工事場所	工事概要
株式会社 長重建設 高知県長岡郡本山町本山 952 番地 1	佐古田 光昭	窪之内 浩一	主任技術者 窪之内 浩一	道交地防安 (1.5 車) 第 103-010-14 号 県道高知伊予三島線防災 ・安全交付金工事	高知県土佐郡土佐町東石原	施工延長 L=59.9m 土工 1式 ブロック積工(大型ブロック積擁壁) A= 466㎡ 法面工(地山補強土工) A= 342㎡ 舗装工(アスファルト舗装) A= 278㎡ 防護柵工(ガードレール) L=56.3m
有限会社 西村建設 高知県土佐市蓮池 465 番地	西村 俊朗	西村 俊彦	主任技術者 西村 俊彦	急傾第 7-1-23 号 中山急傾斜地崩壊対策工事	高知県土佐市蓮池	コンクリート擁壁工 L=64.0m ConV=381 ㎡
株式会社 富士建設工業 高知県高知市介良甲 924-1	澤本 健雄	澤本 直紀	主任技術者 澤本 直紀	広域第 4-3 号 神田川広域河川改修工事	高知県高知市針木本町	擁壁護岸工 L=18.76m ConV=216㎡ 仮設工 1式 仮栈橋工 L= 16.0m 鋼矢板 L= 19.2m (Ⅱw型77枚) 附帯工 1式
有限会社 森木組 高知県吾川郡いの町 4972-1	森木 正一	坂本 開世	主任技術者 坂本 開世	復旧第 13 号 弘瀬復旧治山工事	高知県吾川郡いの町勝賀瀬 弘瀬	谷止工 V=650.3㎡ L=41.0m H=8.0m b=1.5m 水替工 1式 間詰工 仮設工 ケーブルクレーン 1式 石積工(練石) A= 38㎡ 仮設防護柵(木製) 1基 暗渠排水管 L= 15m 仮設工(大型土のう) N=30袋 丸太柵工 L= 87m 支障木 1式 植生ネット工 A=123㎡
株式会社 龍生 高知県土佐市宇佐町宇佐 2827 番地 8	近澤 克昌	山本 謙吾	主任技術者 畠中 頼一	漁保全第 3-105 号 宇佐漁港水産基盤 ストックマネジメント工事	高知県土佐市宇佐町宇佐	宇佐岸壁工事 本土工(場所打コンクリート) L=104.65m コンクリート打設 陸上 V=486 ㎡ 水中 V=822 ㎡

平成27年度 高知県優良建設工事施工者表彰一覧【優良賞】

道改（特定）第10-103-12号
県道興津窪川線道路改良工事

株式会社 生田組



【表彰理由】

町内中心部へ通じる迂回路の無い県道の拡幅工事である。一般の通行車両を25分毎に5分間開放する時間規制の施工であったが、掘削作業及びブロック積作業でスライドアーム式バックホウを使用し、作業効率を高めて工期の短縮を図った。

また、盛土施工に際しては、事前に盛土試験を実施し、最適な転圧回数を求め、試験結果と実際の施工との整合性を確認するため、締固め度試験を実施するなど品質確保の取り組みが優れている。

急傾 第15-1-13号
宮田急傾斜地崩壊対策工事

豚座建設 株式会社



【表彰理由】

人家と施工現場とが近接した急傾斜地崩壊対策工事である。安全対策として警報監視機能付雨量計を設置するとともに法面の変位観測を実施して、雨量と変位の相関関係を検証し作業の中止基準を独自に設定したことや、降雨が予想される日の前日の作業終了時にブルーシートを設置するなど、安全への配慮が優れている。

また、掘削土の残土処理搬出に際しては、住民に運搬経路の利用時間について調査を行い、住民の利用が多い時間帯を回避した残土運搬を行うなど、住民生活への配慮が顕著であった。

道改（特定）第09-107-1号
県道中平栲原線道路改良工事

岩井建設 株式会社



【表彰理由】

四万十川上流域での長大法面を有する道路改良工事である。法枠の鉄筋挿入工の施工では、大型高所作業車によるスカイステーション工法の採用により、作業道と足場設置が不要となり、大幅な工程の短縮と一般車両への影響を低減させた。

また、法枠内への緑化では、現場で伐採された樹木(枝葉)を利用した生育基盤材の活用を提案するなど、自然環境保全に対する配慮も評価できる。

平成27年度 高知県優良建設工事施工者表彰一覧【優良賞】

広域第 1-3 号
奈半利川広域河川改修工事

有限会社 木下建設



【表彰理由】

河口付近において張ブロックを設置する築堤工事である。工事施工個所が河口に近いので、湧水や潮位の変化が掘削や基礎コンクリートの出来形や品質に影響を与えることが懸念されたが、試掘調査による状況調査後に排水ポンプの増設、現場打ち基礎コンクリートを陸上製作のプレキャスト製品に変更提案するなど、施工条件の変化に対する対応が優れていた。

また、掘削工事により発生する濁水処理に際しては3層に分けて沈砂地を設置したうえ、各排出口にはヤシ繊維を設置し濾過を行なうなどの濁水防止対策がなされ、沿岸漁業への影響を大幅に低減させたことが評価できる。

高港臨第 01-02 号
高知新港臨海土地造成工事

新進・大谷特定建設工事共同企業体



【表彰理由】

高知新港内における企業誘致等を目的とした大規模土地造成工事である。盛土施工前に試験施工を実施し、最適な敷き均し厚さや締め固め回数の確認を行うとともに、現場では、大型振動ローラの使用、既存盛土部に存在する玉石や岩塊をプレーカーで破碎して深層部に流用するなど、品質確保の取り組みが優れている。

法面施工では、3次元での施工管理により、最適な出来形管理に取り組むとともに、法面の降雨対策として、小段の形状を工夫したほか、仮設排水管の設置や流末に沈殿池を設けるなど、濁水の流出防止対策が適切であった。

漁生産第 2-3 号
野根漁港水産生産基盤整備工事

大旺新洋・三谷組特定建設工事共同企業体



【表彰理由】

気象（海象）条件が厳しい沖防波堤の新設工事である。ケーソン基礎部の捨石の均し作業では、潜水土船の代替として養生期間を終了した沖防波堤上に、ラフタークレーンの設置を提案して作業の安全性を向上させた。ケーソンの運搬では、GPS搭載船で事前航行を行い安全な運搬ルートを探索するなど、現場に合致した安全で確実な施工がなされた。

また、ケーソンの設置にあたっては、GPSと光波測距器を連動させ、位置を数値化・可視化するとともに、注水区分を4分割し、ポンプと水位計をそれぞれ設置して水平を保つことで優れた施工精度を実現させた。

平成27年度 高知県優良建設工事施工者表彰一覧【優良賞】

道交地防安（1.5車）第103-010-14号
県道高知伊予三島線防災・安全交付金工事

株式会社 長重建設



【表彰理由】

中山間地域において唯一の生活道として利用されている県道の拡幅工事である。通行制限が必要となる現道を利用した作業計画を抜本的に見直し、路側部に仮設道兼作業ヤードを設置することで、現道の通行を確保した。また、バックホウ（クレーン仕様）でも安全に吊れる軽量タイプのブロックを提案するなど、施工方法の工夫を行い、作業効率と安全性の双方を向上させた。併せて、現場周辺で強風により倒れる恐れのある危険木の伐採・搬出や、地元森林組合から木材を購入し看板やバリケードへ積極的に利用するなど、多岐に渡る地域社会への貢献活動を実施した。

急傾第7-1-23号
中山急傾斜地崩壊対策工事

有限会社 西村建設



【表彰理由】

人家が連なる集落背後での急傾斜地崩壊対策工事である。法面の掘削高さが最大で2.2mと高いうえ、大半を人力で掘削しなければならない現場であったが、掘削高を6リフトに分割し、リフト毎に座標値と高さを持たせた3D管理により、切土勾配の施工精度の向上を図っている。擁壁工の施工においても、3D図を基に立体模型を作成し、各測点毎に座標値を設定して型枠位置を管理するなど施工精度の向上に工夫があり、その結果、優れた出来ばえを実現した。

広域第4-3号
神田川広域河川改修工事

株式会社 富士建設工業



【表彰理由】

高知市の住宅密集地において、河積断面を確保するための河川改修工事である。仮設土留の構造変更の提案によるコスト縮減や、生活道への暗渠敷設工に際して基礎コンクリートを二次製品で代用する提案により、通行規制の期間短縮を図った。また、狭隘な施工環境の中で、架空線や上水道など支障物の移設工事関係者と調整を行い、トラブルの発生を未然に防ぐとともに、現場周辺環境への配慮や地元町内会への積極的な奉仕活動も顕著であった。

平成27年度 高知県優良建設工事施工者表彰一覧【優良賞】

復旧第13号
弘瀬復旧治山工事

有限会社 森木組

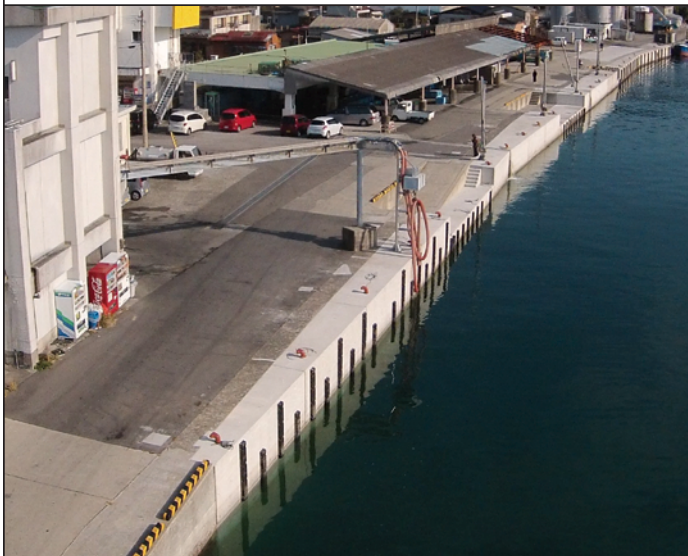


【表彰理由】

中山間地域の集落上部の崩壊渓流を復旧する治山工事である。資材等の運搬に必要なケーブルクレーンの架設では、地元の要望ルートを取り入れ、障害となる高圧線を回避するための特注タワーの設置を提案。また、掘削土砂の現場外への仮置きでは、通常はモッコで運搬するところを、運搬に関わる作業員の安全確保と運搬効率を高める対策として「無人残土セーフティ装置」を考案し、安全性・効率性を飛躍的に向上させた。また、課題であった暑中コンクリート対策では自社管理に加え、出荷者との綿密な調整を実施し良好な品質を確保した。

漁保全第3-105号
宇佐漁港水産基盤ストックマネジメント工事

株式会社 龍生



【表彰理由】

老朽化した漁港岸壁の補強と法線修正を実施する施設の更新工事である。現地は宇佐漁協荷捌所の前面岸壁であったため、漁業活動に支障を来さないよう施工することが求められたが、施工区域を3区分し、漁業関係者と施工時期などを綿密に調整することで信頼関係を築きトラブルを回避した。また、施工に際しては詳細な測量を実施して、陸上での型枠製作（アンカー材の取付含む）を行うことにより、潜水士の水中作業を軽減させるなどの工夫でスムーズな施工を実現させた。